

新企画 タヒチ&マルケサス諸島、神秘の島を巡る

お申込みはこちら

# 南太平洋に浮かぶフレンチポリネシアの島 ゆったり滞在 8日間

南太平洋に浮かぶ118の島々からなる楽園、フレンチポリネシア。この旅では、玄関口のタヒチ島、タヒチ島から日帰りで行けるモーレア島、そして2024年にユネスコ世界遺産に登録されたマルケサス諸島のヒバオア島をゆったりした日程でめぐります。ヒバオア島では、本国の仏大統領も訪れたバンガロータイプのホテル、Hanakee Lodgeに3連泊します。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホリ活)

出発日～帰国日	旅行代金
1/30(金)～2/6(金)	¥946,000

- 燃料サーチャージは(2025年8月10日現在:目安約35,800円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数:8人 ●食事:朝4回、昼4回、夕5回
- 一人部屋利用追加料金:¥160,000
- 利用予定ホテル:Cクラス以上。パペーテ/ホテル タヒチヌイ ヒバオア/ハナキーロッジ
- 利用予定航空会社:エア タヒチヌイ、エア タヒチ

## マルケサスの大自然と独自の文化

12の火山島からなるマルケサス諸島。その中のヒバオア島に滞在します。タヒチ島から北東へ約1,500km離れているため、タヒチとは異なる独自の文化が発展しました。切り立つ山々と深い渓谷が織りなす壮大な風景が広がるヒバオア島では、素朴な暮らしと古代ポリネシアの石像や儀式跡が今も大切に守られています。また、印象派の画家ポール・ゴーギャンやベルギー出身のシンガーソングライター、ジャック・ブレルが晩年を過ごしたことで知られ、彼らの足跡を辿ることも旅の魅力の一つです。



▲ダイナミックな自然が広がるヒバオア島

## モーレア島ハイキング 守り神 ティキ

タヒチ島から高速フェリーで約30分。美しい海と緑豊かな熱帯の風景が広がるモーレア島でハイキングへ。モウアロア山(880m)やトヒエア山(1,207m)、オプノフ湾を見渡す美しい景色をお楽しみください。

ヒバオア島にはティキと呼ばれるポリネシア文化における神聖な像や彫刻が数多く残っています。中でも有名なのはイボナ遺跡にある高さ約2.5mフレンチポリネシアで最大のティキ「タカイ」。守り神として大切にされています。



▲島のシンボル モウアロア山



▲タカイと地元のガイド

日	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京(成田) 発着 パペーテ	東京(成田)発→エアタヒチヌイ航空でタヒチ島ファアア国際空港へ。 着後、専用車でパペーテ市内観光、マルシェ散策へ。フレンチポリネシアの文化と歴史を知るタヒチ博物館へ。 ☐☐☐【パペーテ泊 団】
2	パペーテ 発着 モーレア島 モーレア島 発着 パペーテ	早朝、高速フェリーでモーレア島へ。 専用車でベルベデールの登山口へ。山と海のパンoramを楽しみスリーココナッツトレイルを歩きます(徒歩約3.5時間)。 午後、高速フェリーでパペーテへ。 夕食は地元の人も楽しむ屋台(ルロツ)へご案内いたします。 ☐☐☐【パペーテ泊 団】
3	パペーテ 発着 ヒバオア島	早朝、専用車でファアア空港へ。 国内線でヒバオア島へ。 着後、中心地のアツオナの町から近く、海に面したHanakee Lodgeへ。 ☐☐☐【ヒバオア島泊 団】
4 5	ヒバオア島 滞在 海岸沿いのハイキング WDで島内をめぐる1日ツアー ポール・ゴーギャン記念館 ジャック・ブレル博物館	ヒバオア島到着日の午後とヒバオア島出発日の午前も含めた滞在中に、下記のアクティビティをお楽しみいただけます。天候に合わせてご案内いたします。 ・ハナイアパ渓谷からハナテクウア湾まで海岸沿いのハイキング(徒歩約2時間)。復路はカヌーで戻ります。 ・古代遺跡や石像(ティキ)を見に4WDで島内をめぐる1日ツアー ・ポール・ゴーギャン記念館、ジャック・ブレル博物館を訪れるアツオナの村観光 ・マルケサスダンス(ハカ)鑑賞 ☐☐☐☐☐【ヒバオア島2泊 団】
6	ヒバオア島 発着 パペーテ	午前、専用車で空港へ。 国内線でパペーテへ。 着後、パペーテ市内のホテルへ。 ☐☐☐☐【パペーテ泊 団】
7	パペーテ 発着	パペーテ市内発→ファアア国際空港へ。エアタヒチヌイ航空で東京へ。 ☐☐☐☐☐【機中泊】
8	東京(成田) 着	午後、東京(成田着)。 ☐☐☐☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## ポリネシア文化

ハワイ、ニュージーランド、イースター島のポリネシア三角形の中心にあるのがフレンチポリネシア。諸説ありますが、マルケサスはポリネシア文化発祥の地と考えられています。かつてマルケサスの戦士が躍ったハカも伝統の一つです。

## ポール・ゴーギャン

19世紀後半の画家、ポール・ゴーギャンがタヒチを愛したことは有名ですが、終の棲家として選んだのはヒバオア島でした。数多くのレプリカ作品が飾られた記念館は、静かにじっくりとお楽しみいただけます。



▲伝統のタウーとマルケサスダンス



▲ポール・ゴーギャン記念館